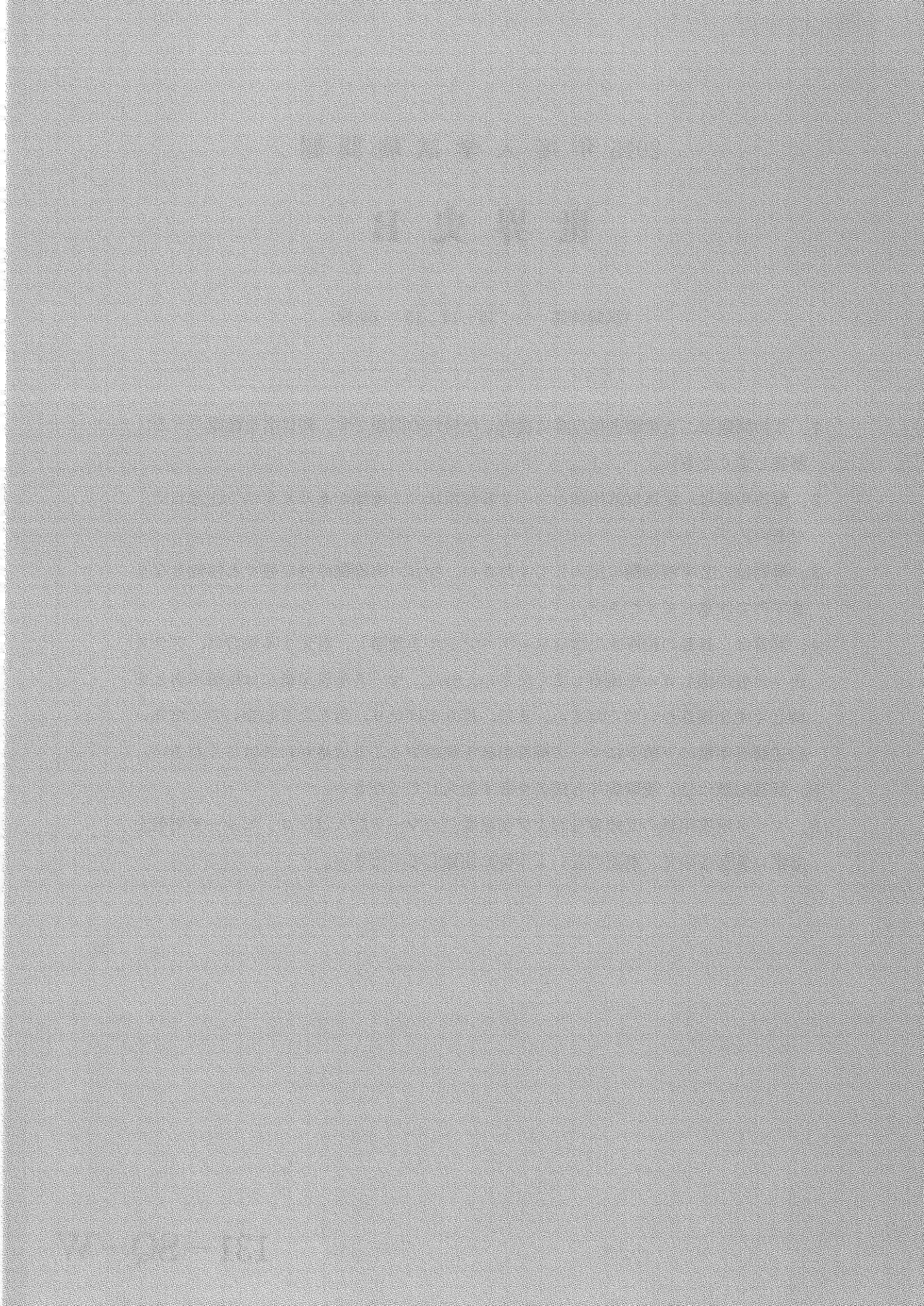


2015 年度 入学試験問題

世界史 B

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、**HB**の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I イベリア半島について述べた次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

「ピレネー山脈を越えるとそこはアフリカだった」という言葉があるが、実際のところ、イベリア半島は南端のジブラルタル海峡をはさんでアフリカ大陸と対峙している。また半島の東側は地中海、西側は大西洋に面し、それぞれの方向から多様な影響を受け、また及ぼしてきた。

先史時代までさかのぼると、イベリア半島には、北東部から、新人に属する 人が移り住んできていたと考えられる。 人の痕跡は、1879年に で発見された洞穴絵画で確かめることができる。前8世紀頃になると、当時地中海での海上交易に活躍していた 人が、イベリア半島南部にも勢力を拡大していた。 人は北アフリカの に植民都市を建設し、西地中海交易を独占していた。

だが、前3世紀のポエニ戦争で がローマに破れると、今度はローマによるイベリア半島支配が始まった。ローマによるイベリア半島の征服は南から北へと進められ、アウグストゥスの時代には北西部が平定され、イベリア半島は「ヒスパニア属州」としてローマ帝国の支配下に収められた。ローマ帝国の最盛期に現れた五賢帝の一人であり、またローマの領土を最大にしたことでも知られるトラヤヌスはイベリア半島の出身であった。

5世紀にトロサ(現トゥールーズ、フランス南部)に都をおいて 王国が建国された。この王国が6世紀になると、イベリア半島の に遷都した。 人はもともとニケーア公会議で異端とされた 派であったが、ヒスパニアの民がアタナシウス派だったため、アタナシウス派に改宗し、ローマ支配のヒスパニアをそのままのかたちで引き継ごうと努めた。しかし、8世紀に入ると、南方から半島に侵入してきたイスラーム勢力に滅ぼされた。イスラーム勢力はその後、 に都をおいて、後ウマイヤ朝を開いた。この頃から15世紀末までのおよそ8世紀もの間、イベリア半島ではイスラーム勢力の支配が存続し、高度なアラブ=イスラーム文明が生まれた。後ウマイヤ朝は、10世紀に全盛期を迎えたが、その後11世紀には内紛で衰退した。

イスラーム勢力の南方からの征服に対して、北方に追いやられたキリスト教勢力に

よる国土回復運動が10世紀頃よりさかんとなる。この運動を牽引したのは、カスティリヤ（カステイーリヤ）王国や 王国であった。その後両王国は、国土回復運動が進展した1479年に統一されてスペイン王国が誕生した。

11～12世紀頃には、ヨーロッパでキリスト教徒の間に聖地巡礼熱が高まり、イベリア半島では がキリスト教三大巡礼地のひとつとして人気を集めた。当時この場所には、12使徒の一人、聖ヤコブの墓があると信じられ、この聖人が国土回復運動を進めるキリスト教徒にとっては守護聖人としても崇められた。国土回復運動は、15世紀末に、イベリア半島最後のイスラーム王朝であるナスル朝の都、 をキリスト教勢力が陥落させて完了する。

国土回復運動を終えたスペイン王国は、さらに海外への領土拡大を進める。カスティリヤ女王 がコロンブスを支援し、新大陸に到達すると、現地で栄えていたアステカ帝国やインカ帝国を滅ぼし、この地を植民地化した。新大陸で採掘された大量の金・銀は16世紀にスペイン王国に繁栄をもたらしたが、17世紀には徐々にその貿易量を落とし、王国は衰退していく。18世紀にはスペイン=ブルボン朝が誕生し、スペインの近代化と中央集権化を進め王国の立て直しを図った。

【設問Ⅰ】 前の文章の ～ 内に入るもっとも適切な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部について、後ウマイヤ朝は第8代アミール（総督）の時に全盛となった。この第8代アミールは誰か。次の選択肢から適切な人名を1つだけ選びなさい。

- ① アブド=アッラフマーン3世
- ② アブド=アルマリク
- ③ アブー=アルアッバース
- ④ ニザーム=アルムルク

問2 本文中の (あ) ~ (え) 内に入るもっとも適切な地名をそれぞれ1つずつ選びなさい。

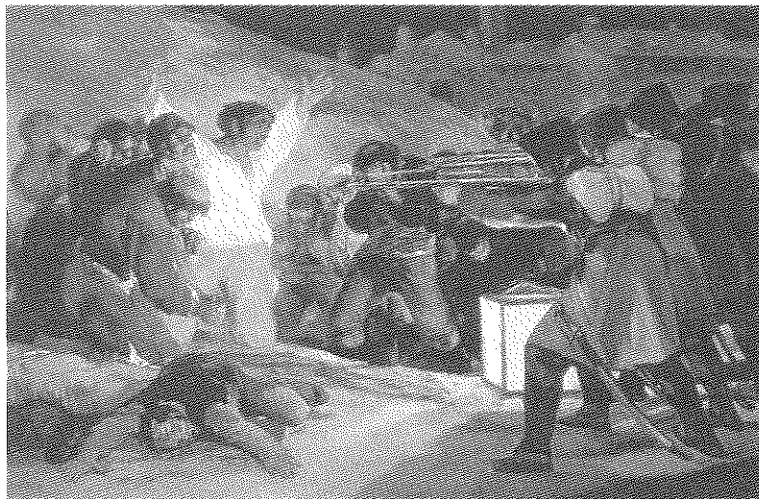
- ㉑ グラナダ
- ㉒ バルセロナ
- ㉓ サンチャゴ=デ=コンポステラ
- ㉔ コルドバ
- ㉕ トレド

問3 本文中の (あ) ~ (え) 内に入る地名の位置として、もっとも適切な記号を下のイベリア半島の地図からそれぞれ1つずつ選びなさい。



【設問Ⅲ】 以下の絵画は、19世紀以降のスペインにおける歴史的出来事について描いた作品である。

作品1 「1808年5月3日」



(出典)『高等学校 改訂版 世界史B 人、暮らしがあふれる歴史』第一学習社, 2014, p.168

作品2 「ゲルニカ」



(出典)『新選世界史B』東京書籍, 2014, p.195

問1 作品1はスペインで1808年5月3日におこった出来事を表している。この絵画の左には素手で立ち向かうスペインの民衆、右には武器をかまえたフランスの軍人が描かれている。この作品の作者は誰か。マーク解答用紙にマークしなさい。

- Ⓐ ドラクロワ
- Ⓑ ミレー
- Ⓒ クールベ
- Ⓓ ゴヤ
- Ⓔ ドーミエ

問2 作品1が描いている歴史的出来事として、もっとも適切なものを選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- Ⓐ スペイン継承戦争
- Ⓑ スペイン反乱（半島戦争）
- Ⓒ スペイン立憲革命
- Ⓓ スペイン革命

問3 作品2は、スペイン内戦中におこった北部バスク地方の小都市ゲルニカでの出来事を表している。作者は誰か。記述解答用紙に記入しなさい。

問4 作品2に描かれた内戦で、人民戦線政府を打倒するために軍部を指揮し、勝利した後は国家主席となって独裁体制を敷いたスペインの軍人は誰か。記述解答用紙に記入しなさい。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

A 産業革命は、機械や動力面での技術が飛躍的に進歩した結果として生じた社会の大変革にほかならない。産業革命は18世紀後半のイギリスで始まり、それ以前の工業のあり方を変えながら資本主義体制を確立していった。^①

他国に先駆けて、イギリスが産業革命を成し遂げられたのは、資本、市場、労働力のすべてが豊富に存在したからである。資本については、イギリスは古くから商工業が発達していたため、巨額の資本がすでに蓄積されていた。市場については、絶対王政時代の経済政策であった重商主義を積極的に推進していたことや、植民地戦争に勝利したことなどから、広大な海外市場を有していたのである。労働力については、食料を増産するため議会や政府が奨励した合法的で大規模な第2次エンクロージャーによって、土地を失った大量の農民が工場の労働力を担う賃金労働者となっていた。

資本主義が発展するためには、経済活動を自由化することが必要であった。そのため、イギリスでは、絶対王政を打倒して近代市民社会に移行する市民（ブルジョワ）革命が必要であった。イギリスの市民革命は、による絶対王政との対立を深めていた産業資本家などによって成し遂げられた。彼らの多くが禁欲と勤勉を奨励し、世俗の職業を重視したことから、この市民革命は、革命とも呼ばれた。

B 中世後期以来のイギリスの経済繁栄の基礎となってきた代表的な産業は、毛織物工業であったが、産業革命当時には、繊維産業の中心は木綿工業になった。17世紀以降、東インド会社によってインド産綿布（キャラコ）が輸入されていたが、需要の高まりとともに、アメリカやインドから輸入した綿花を原料としてイギリス国内でも木綿工業が発達した。

イギリス国内での木綿工業の発達は、綿布を生産する織機と、綿糸を紡ぐ紡績機を改良する歴史と言ってもよい。

まず、織機が1733年に改良された。ランカシャー地方の織工であったジョン＝ケイが飛び杼（梭）を発明し、綿布生産の能率が上がったのである。しかし、綿布の

生産性向上は綿糸不足を生じさせた。これを解決するため、1764年に、ハーグリーヴズがローラーを利用して1人で多数本の糸を紡ぐことを可能にした 紡績機を発明した。

また、1779年に、クロンプトンが 紡績機を発明したが、この紡績機は 紡績機や、その後に登場した水力紡績機の長所を取り入れ、細くて強い糸を紡ぐことを可能にした。

このような紡績機の改良に対応して、織機にも改良が施された。1785年には、 が織布工程に蒸気機関を利用した力織機を発明し、生産効率を高めることに成功したのである。こうした本綿工業における工場制度や技術革新は毛織物工業などへも波及し、産業革命をさらに押し進めた。

C イギリスの産業革命を推進した背景には、水蒸気を利用して熱エネルギーを動力に変換する蒸気機関のめざましい発展があった。18世紀になると、炭坑の排水ポンプの動力として蒸気機関を実用化した が現れた。それを大幅に改良し、熱効率を高めるとともに、ポンプ用の動力に限定することなく、あらゆる機械の動力に応用する可能性を開いたのは、 であった。

また、蒸気機関は、産業革命によって激増した原料や製品の大量輸送にも活用された。1807年には、世界初の外輪式蒸気船クラーモント号が、アメリカの技師 によって建造され、帆船に代わって大洋航海に利用されるようになった。

一方、蒸気機関車は、1804年にイギリスの技師トレヴィシックが最初の軌道式蒸気機関車を発明した。それを改良し、1825年、ストックトンとダーリントン間で試験走行に成功したのが、 である。それから5年後の1830年にはイギリス、アメリカで鉄道が開通し、その後、フランス、ドイツ、ベルギーなどでも鉄道が敷設されたのである。

蒸気船や蒸気機関車の製造、鉄道の敷設には大量の鉄が必要であるから、諸産業の基幹産業としての鉄工業の発展は必要不可欠な条件であった。それは同時に、イギリスの各地域に工業都市を生み出した。例えば、イングランド中部に位置する は、鉄鉱石や石炭の産地に近いという恵まれた立地条件から製鉄業や機械工業の中心地となった。また、木炭を用いた製鉄法に代えて、 父子に

よってコークス製鉄法が開発されたことなどから鉄の大量生産が可能になった。

D 産業革命は、工場と機械による大量生産をイギリス社会に定着させていったが、その過程で大量の賃金労働者を生み出した。そのなかには、女性や子ども、アイルランドから流入してきた人々などが数多く含まれていた。こうした工場労働者の多くは、低賃金かつ長時間労働を受け入れざるをえなかったが、工場労働者のなかには、急速に社会を変えていく新たな生産革命に対する抵抗運動を展開する者も現れた。また、都市の急激な人口増加は、生活環境の悪化を招き、栄養状態も悪かったので、結核や天然痘、さらにはコレラなどの伝染病が絶えなかった。こうした生活環境の悪化は、都市部だけでなく、農村部でもみられ、多くの人々が劣悪な生活環境下で貧困化した。

こうした問題に対し、幾つかの対策がとられていた。工場法もその1つであり、1802年の徒弟法に始まり、1833年の一般工場法では児童や青少年の労働条件などが法制化された。

また、スコットランドのニューラナークに紡績工場を建設した は、人道主義の立場から、10時間労働制や清潔な労働者住宅の整備、世界初と言われる幼稚園の設営などを通して、労働者の労働環境や生活環境の改善に尽力した。このように、産業革命がもたらした資本主義社会の矛盾や弊害に対し、人道主義的立場から理想社会の実現を図る思想は、カール=マルクスが提唱した、資本主義の構造や運動法則を科学的に分析することによって社会主義の実現をめざす科学的社会主義とは異なり、 主義と言われている。このような立場にたつ思想家はフランスにも現れた。アメリカ独立戦争に義勇兵として参加したことでも知られるサン=シモンや、協同組合的理想社会（ファランジュ）の建設を唱えた などが特に有名である。

【設問 I】 本文中の ～ 内に入るもっとも適切な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 本文中の ～ について、次の記号群①～⑤の中から
もっとも適切と思われる記号をマーク解答用紙にマークしなさい。

(あ) {①テューダー朝 ②ハノーヴァー朝 ③ヴィクトリア朝 ④ステュアート朝
⑤ウィンザー朝}

(い) {①スティーヴンソン ②ダービー ③ニューコメン ④フルトン ⑤ワット}

(う) {①スティーヴンソン ②ダービー ③ニューコメン ④フルトン ⑤ワット}

(え) {①スティーヴンソン ②ダービー ③ニューコメン ④フルトン ⑤ワット}

(お) {①スティーヴンソン ②ダービー ③ニューコメン ④フルトン ⑤ワット}

(か) {①グラスゴー ②リヴァプール ③ニューキャッスル ④バーミンガム
⑤マンチェスター}

(き) {①スティーヴンソン ②ダービー ③ニューコメン ④フルトン ⑤ワット}

【設問Ⅲ】 下線部①～③に関する以下の問の答えを、記述解答用紙に記入しなさい。

問1 下線部①について、以下の説明文中の 内にもっともよく当ては
まる語句を記入しなさい。

16世紀後半にイギリスの毛織物工業において発展したものであり、技術
的には手工業段階ではあったものの、資本家に雇われた労働者の手と道具を
用いた分業をもとに、商品を工場での協業によって生産する方式を
という。

問2 下線部②について、以下の説明文中の 内にもっともよく当ては
まる語句を記入しなさい。

産業革命によって進められた機械化が原因で仕事を奪われたとする手工業
者や職人が、イングランド中部や北部の織物工業地帯で機械や施設を襲撃し
た事件や暴動を 運動という。

問3 下線部③について、以下の説明文中の 内にもっともよく当てはまる人名を記入しなさい。

『イギリスにおける労働者階級の状態』において、当時の労働者の劣悪な生活環境や労働環境を克明に分析することによって資本主義を批判するとともに、カール=マルクスとともに科学的社会主義の立場から1848年に『共産党宣言』を起草したドイツの社会主義者は、 である。

III 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

中国は多くの国とのあいだで国境線を有している。国境をめぐる紛争は領土問題や民族問題と絡んで、複雑である。中国とロシアは4千キロ余にもわたる長い国境線を有し、その時々々の両国の国力や世界情勢と密接に関連して長年の国境紛争を生んできた。

ロシアが毛皮などを求めて東へ、さらには南へと進出しようとした17世紀後半、中国とロシアとのあいだで国境策定の必要性から、1689年に康熙帝とピョートル1世(大帝)のあいだで 条約が締結された。この条約は清が外国と締結した初めての条約であり、外興安嶺(ロシア名はスタノヴォイ山脈)と 川が国境線と定められ、ロシアの南下を阻止することになった。

また、中央アジアではモンゴル族の住むジュンガル部が急速に強大化して青海地方を併合し、チベット、外モンゴルも勢力下においた。康熙帝はみづから軍を率いてジュンガル軍を撃破し、1696年に外モンゴルと青海地方を清領とし、さらにチベットも支配下におさめた。 条約ではモンゴル方面の国境が定められていなかったため、1727年に雍正帝とピョートル2世のあいだで 条約が締結された。これにより、 川からアルタイ山脈までの国境線が定められ、ロシアと清国のそれぞれに交易場が設けられ、両国間で貿易が始められることになった。

19世紀半ば、アヘン戦争におけるイギリスの勝利に刺激されたロシアは、ニコライ1世が統治権と外交権をもつ東シベリア総督を設置し、その初代総督に を任命した。彼は積極的に領土の拡張をすすめ、清が太平天国の乱やアロー戦争に苦しんでいる状況を見て、1858年に 条約を結び、黒竜江以北をロシア領としてロシアに有利な国境線とし、さらにウスリー江以東の沿海州を両国の共同管理とした。そして、この条約の2年後に、ロシアは清朝とイギリス・フランスとのあいだに北京条約を成立させた。その調停の代償としてロシアはウスリー江以東を獲得して、現在のロシアと中国の国境が確定し、ロシアは日本海に面し極東経営の拠点となる港市の を建設した。

中央アジアでは、19世紀なかば、ヤクブ=ベクが建てたカシュガル=ハン国などのイスラーム教徒の動きが活発になった。ロシアは居留民の保護を名目にイリ地方に軍

を進め、ウズベク族のコーカンド=ハン国を滅ぼし、同じウズベク族のブラハ=ハン国とヒヴァ=ハン国を保護国とした。こうした事態に対し、清朝は [G] を欽差大臣としてイリ地方に派遣した。[G] は清軍を率いて騒乱を鎮圧したが、ロシアも軍を撤退させず、中国とロシアのあいだは新たに緊張する事態となった。その結果、1881年にイリ条約が締結され、イリ地方は清朝に返還された。これが現在の中華人民共和国において今なお騒乱と対立が発生している [H] 自治区である。ロシアはこの地での通商権を得ることになった。中央アジアにおけるロシアのこうした南下政策は、アフガニスタンに勢力を伸ばしていたイギリスとのあいだに新たな緊張関係を生むことになったのである。

中国とロシアの関係は、20世紀に入って大きく変貌した。ロシアは1922年にソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）となった。中国では国共内戦を経て、1949年に毛沢東率いる中華人民共和国が成立した。東西冷戦を背景に、1950年には中華人民共和国とソ連のあいだに [I] 条約が締結された。しかし、スターリンの死後、ソ連に [J] が登場してアメリカとの平和共存路線を提起したため中ソ論争が表面化した。1960年にはソ連の技術者が一斉に中国から引き揚げる事態となって、両国の関係はいつそう冷え込んだ。文化大革命時期には国境をめぐり、珍宝島（ダマンスキー島）において両軍が発砲し多数の死者がでる事態となった。ソ連は核兵器の使用を考えたといわれる。

中ソ論争が表面化したころ、チベットでは1959年に仏教徒を中心とした反中国運動がおこった。チベット仏教の指導者で後にノーベル平和賞を受賞する [K] はインドに亡命し、インド政府は彼を支持して中印国境は一気に緊張が高まり、1962年には大規模な戦闘へと発展した。この中印国境紛争はいまだ、正式な解決には至っていない。

中国は長い国境線を有するソ連の脅威に対抗するために、ソ連と対立する西側の雄であるアメリカとの接触をはかるようになった。1971年にキッシンジャー大統領補佐官が極秘に訪中し、翌1972年の [L] 大統領の訪中の準備をした。また、1971年に国連では中華人民共和国が台湾の中華民国に替わって中国代表となった。

やがて、1989年にゴルバチョフ書記長が中国を訪問し、中国とロシア（ソ連）との対立は終わりを告げた。

【設問Ⅰ】 A ～ L 内に入る最も適当な語を記述解答用紙に書きなさい。

【設問Ⅱ】 下線部①～④に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問 1 下線部①について、康熙帝の時代に関する以下の文で、誤りを含むものを選びなさい。誤りを含むものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 康熙帝は清の中国平定にあたって功のあった呉三桂らのおこした三藩の乱を鎮定して中国支配を確立した。
- (b) 台湾では鄭成功がオランダ勢力を破り鄭氏一族が清朝と対立していた。康熙帝は台湾に遠征軍を送って制圧し、中国統一の基礎をかためた。
- (c) 康熙帝は即位するとすぐ、明代の一条鞭法に代わって土地税と人頭税を一括して銀で納入する地丁銀制度を始めた。
- (d) 康熙帝は学問を奨励し、また、イエズス会宣教師であるフェルピーストやブーヴェから西欧の新知識を吸収した。

問 2 下線部②について、ピョートル 1 世（大帝）の時代に関する以下の文で、誤りを含むものを選びなさい。誤りを含むものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ピョートル 1 世（大帝）は海への出口を求め、オスマン帝国が支配していたアゾフ海を占領した。
- (b) ピョートル 1 世（大帝）は北方戦争でスウェーデンと組んでデンマーク・ポーランドに勝利し、バルト海の覇権をにぎった。
- (c) ピョートル 1 世（大帝）はバルト海に臨むペテルブルグを新たな首都とした。ここから西欧文化が流れこみ、ペテルブルグは「西欧への窓」と呼ばれるようになった。
- (d) ピョートル 1 世（大帝）はみずから西欧諸国を視察し、武器の製造技術など西欧の科学技術を導入してロシアの西欧化と近代化に努めた。

問3 下線部③について、雍正帝の時代に関する以下の文で、誤りを含むものを選びなさい。誤りを含むものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 雍正帝は、典礼問題でイエズス会宣教師以外のキリスト教の布教を禁止した康熙帝の方針をさらにすすめて、キリスト教布教禁止令をだした。
- (b) 雍正帝は軍事行政の最高意思決定機関である軍機処を創設して君主独裁を強化した。
- (c) 雍正帝は藩部を管理する中央行政機関である理藩院を設置したが、藩部の増大にともなって理藩院も拡大した。
- (d) 康熙帝の命令で編纂が開始された中国史上最大規模の百科事典である「古今圖書集成」は、雍正帝の時代に完成した。

問4 下線部④について、台湾に関する以下の文で、誤りを含むものを選びなさい。誤りを含むものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 台湾は19世紀末の日清戦争の結果締結された下関条約により、澎湖諸島・遼東半島とともに日本に割譲された。
- (b) 戦後のサンフランシスコ平和条約により日本は主権を回復して朝鮮や台湾の領土権を放棄し、台北で日華平和条約を締結した。
- (c) 田中角栄首相は、北京に赴いて周恩来首相とのあいだで日中共同声明を発表し、中華人民共和国が中国を代表する唯一の正式な国家と認め、台湾の中華民国政府と断交した。
- (d) 蒋介石の後を継いだ蔣経国の死去にともない、李登輝が台湾出身者として初めて総統となり、民主化をすすめた。

